

平成21年1月5日

各位

上場会社名 黒崎播磨株式会社  
 代表者 取締役社長 古野 英樹  
 (コード番号 5352)  
 問合せ先責任者 取締役常務執行役員総務人事部長 江口 宏  
 (TEL 093-622-7224)

## 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成20年5月15日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

(金額の単位:百万円)

平成21年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	98,000	5,000	4,800	2,800	31.30
今回発表予想(B)	96,000	3,300	3,000	△4,500	△50.99
増減額(B-A)	△2,000	△1,700	△1,800	△7,300	———
増減率(%)	△2.0	△34.0	△37.5	—	———
(ご参考)前期実績 (平成20年3月期)	95,376	4,994	4,796	3,233	36.15

平成21年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	87,000	2,700	2,800	1,600	17.89
今回発表予想(B)	87,000	1,400	1,300	△5,500	△62.32
増減額(B-A)	—	△1,300	△1,500	△7,100	———
増減率(%)	—	△48.1	△53.6	—	———
(ご参考)前期実績 (平成20年3月期)	85,226	2,596	2,455	1,880	21.02

## 修正の理由

## (1)売上高、営業利益及び経常利益

世界的な景気後退局面で鉄鋼需要が減衰し、当社グループの主要得意先である鉄鋼業界においても相次いで減産を実施しています。そのため、国内、海外とも、粗鋼生産量が大幅に落ち込み、耐火物需要も大きく減少することが見込まれます。

また、半導体業界の需要低迷継続によるファインセラミックス事業や、住宅、公共工事等の建設投資のさらなる冷え込みによるその他の事業(建材及び景観材)の業績悪化も想定されます。

このように、当社グループを取り巻く市場環境が著しく悪化し、当社グループの業績への悪影響が見込まれるため、売上高(連結のみ)、営業利益、経常利益とも修正するものです。

## (2)当期純利益

上記の利益減少に伴うもののほか、本日平成21年1月5日公表の「投資有価証券評価損に関するお知らせ」に記載のとおり、当社が保有する上場株式(投資有価証券)のうち、ブラジルの大手耐火物メーカーであるマグネジッタ社等の株式の減損処理による投資有価証券評価損5,900百万円を特別損失として計上するため、修正するものです。

※上記の予想につきましては、現状で判断しうる一定の前提、仮定に基づいています。今後発生する状況の変化によっては、異なる業績結果となることも予想されますのでご了解ください。

以上